



大國の子

H29. 10. 25 発行 校長：保坂和彦

～めざす子どもの姿～
○思いやりの心を持ち、助け合う子ども
○よく考え、自ら学ぶ子ども
○心身ともに健康で、進んで行動する子ども

学力・学習状況調査(全国学力テスト)について

目的

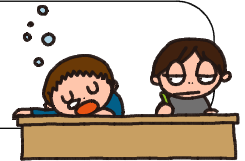
児童の学力や学習状況を把握・分析し、学習における課題や生活状況の実態などを明らかにすることにより、今後の指導に役立てていくこと

対象

小学6年生

調査内容

- ①教科に関する問題(国語・算数) *基礎と活用があります。
- ②生活習慣や学習習慣に関する質問紙調査



調査結果の分析、まとめ

保護者や地域へお知らせすることにより、学校・家庭・地域が協力して子どもたちの成長を支えていく体制を作っていきます！！

～分析結果の概要～

1 本校の主な成果と課題

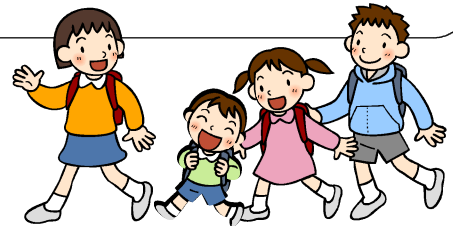
<成果>

国語

- ①漢字の正しい読み方、書き方についての定着
- ②ことわざの意味についての理解

算数

- ①基礎的な計算の立式と回答
- ②図形に関する知識と展開図の読み取り



<課題>

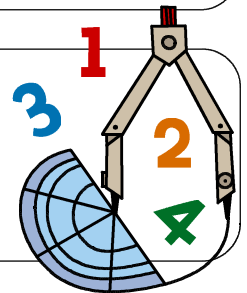
国語

- ①話し合いの中で、共通点や相違点を整理しながら話し合う。
- ②目的や意図を明確にし、話したり人の話を聞いたり、文章全体の構成を考えたりする。



算数

- ①1より小さい小数をかける場面を理解し、数直線に表す。
- ②わり算の商を分数で表す。 ③最小公倍数を求める。
- ④平行四辺形や三角形の面積を求める。 ⑤立体図形の展開図を理解する。
- ⑥2つ以上のものの関わりを表した資料を読み取る。



算数の活用問題について

活用に関する問題では、問題文が長く複雑になるため、問題文の意図をつかみきれていない。詳しい内容としては、

- ①問題場面から見いだした量の関係を考え、その関係を自分なりに表現する。
 - ②日常生活の問題の解決のために、必要な情報を選択して数学的に処理したり、示された方法を場面に応じて使い分けたりする。
- といったところが課題である。

2 教科における主な改善点

国語

- ①朝のチャレンジタイムの活用（漢字の正しい読み方，書き方についての定着）
- ②話し方・聞き方の基本モデルについての指導と定着
- ③自分の考えをまとめる，それを説明するための材料を集める，など具体的な書き方の指導

算数

6年生の個人票の内容は個別懇談で説明します！

- ①朝のチャレンジタイムの活用（計算練習と計算問題の解決の定着）
- ②具体物や半具体物などの教材の活用により，視覚的に理解できる授業
- ③「主体的対話的で深い学び」につながる問題解決学習
- ④図や言葉で説明する活動を取り入れた話し合い
- ⑤学習感想などを通じた授業の振り返りの機会の確保



大國小チャレンジタイム

共通

- ①授業の中で自分なりの考えをもつこと，自分の考えをわかりやすく表現すること，友だちの意見を考えながら聞くこと，進んで発言すること
- ②学習習慣を定着させたり，ノートを丁寧に書かせたりすること
- ③家庭学習への取組
・自主学习やレコーディングスタディの推進，「学びの甲斐善八か条」の定着



3 質問紙調査における本校の主な特徴

<成果>

自分・友だちに関わって

- ①「自分には良いところがある」「難しいことでも挑戦しようと思っている」「将来の夢や目標をもっている」等のポイントが高い。
- ②「友だちの話を最後まで聞く」「友だちとの約束を守る」等のポイントが高い。

学校に関わって

- ①「学校に行くのは楽しい」「友だちに会うのは楽しい」等のポイントが高い。
- ②「放課後友だちと遊ぶ」「読書の時間」等のポイントが高い。

<課題>

学習習慣・家庭での生活習慣に関わって

- ①「家での学習時間（予習・復習の時間）」「自分で計画的に学習する」等のポイントが低い。
- ②「テレビ・DVDの視聴時間」「テレビゲームで遊ぶ時間」が長い（3時間以上が20%近い）。



地域・社会に関わって・

- ①「地域や社会をよくするために何をすべきか考える」「地域の大人との関わりがある」「新聞を読む」等のポイントが低い。
- ②「文章を書くこと，自分の考えを表現すること，話し合い活動」に苦手意識がある

4 質問紙調査からの改善点

- ①「学校が楽しい」「自分によいところがある」といった前向きな気持ちを大切に，一人一人の意見を大切にしながら，みんなで協力して成し遂げる喜びを実感できるような教育活動の推進
- ②地域の行事に積極的に参加し，地域の方との関わりを大切に，自分たちの住む町に愛着がもてるような声かけの励行
- ③家庭との連携による自主学习の取組，テレビ等の利用時間の制限といった生活習慣の改善
- ④将来や夢に向けて何をすべきか，一人一人が考えられるようなキャリア教育の推進

